

## 令和7年度 学校関係者評価議事録

- 1、日 時 令和7年6月16日（月）午後1時～午後3時35分  
1、場 所 学校法人岡崎学園（通信制課程校舎） 会議室  
1、出席状況 出席 計14名

【学校関係者委員】計7名

- ・ 矢内 昭秀 氏（大阪ダイハツ販売株式会社）
- ・ 車谷 知紀 氏（竹菱自動車販売株式会社）
- ・ 奥田 恵造 氏（関西大学 職員）
- ・ 三浦 哉子 氏（学びリンク株式会社）
- ・ 大矢 敬道 氏（黒田寺 住職）
- ・ 佐々木 大介 氏（正定寺 住職）
- ・ 東本 秀雄 氏（町会長）

【説明者】計7名 ※令和6年度の役職に基づき説明者を決定

- ・ 岡崎 泰道（学岡崎学園 理事長 兼 東朋学園高等学校 校長）
- ・ 太田 功二（東朋学園高等学校 副校長・東朋高等専修学校 校長）
- ・ 中田 博隆（大阪自動車整備専門学校 校長）
- ・ 船井 英伸（東朋学園高等学校 教頭）
- ・ 山田 晃子（東朋高等専修学校 総合教育学科 教頭）
- ・ 脇西 歩（東朋高等専修学校 普通科 教頭）
- ・ 勝間 祥子（学岡崎学園 法人本部 事務局）

- 1、議 案 第1号議案 自己点検評価、保護者等のアンケート集計結果報告  
第2号議案 第1号議案における各評価項目に対する意見交換  
第3号議案 大阪自動車整備専門学校の校舎移転後の状況報告  
第4号議案 各施設の今後の運営計画についての報告

### 議事の経過及びその結果

上記のとおり出席があったので、理事長が議長となり定刻開会を宣し、議案の審議に入った。

#### 第1号議案 自己点検評価、保護者等のアンケート集計結果報告

議長は、各学校の説明者へ自己点検・自己評価の報告を指示した。

各学校の説明者はそれぞれの報告を説明し、各項目に対する反省点及び改善点を説明した。

また、保護者等のアンケートの集計結果を報告し、それぞれの項目における懸念事項や継続していくべきと考える事柄を報告した。

学校評価委員は自己点検・自己評価に関し、内容に問題はなく適切であると評価した。

## 第2号議案 第1号議案における各評価項目に対しての意見交換

議長は上記評価項目に対しての改善点等の報告を踏まえた上で、今後どのように取組むべきか意見を出してもらいたい旨を伝えた。

委員の意見として、通信制の高校は令和6年の入学者数が伸び悩んだため、生徒募集について、今一度見直してみても、という意見があった。現在、通信制高校は「特別な選択肢」ではなく、「一般的な進路のひとつ」として定着しつつあると感じている。通信制教育を行う教育機関の数も増えており、その要因であるニーズを把握し対応していくことで安定的な経営ができるのではないかと意見があった。またこういったことは通信制の高等学校に限ったことではなく、すべての学校種にも言えることだとの意見もあり、理事長ほか説明者はすべての学校においてより一層の努力をしていくことを約束した。

各評価項目における評価委員からの具体的な意見は、別途学校関係者評価 報告書に記載する。

## 第3号議案 大阪自動車整備専門学校の校舎移転後の状況報告

大阪自動車整備専門学校の校舎建替の状況について、大阪自動車整備専門学校の校長より進捗報告を行った。

令和5年10月に移転してからは、地域の方々のご理解もあり特にトラブルもなく、運営ができています。新校舎は多少の工事の遅れはあったものの、令和8年1月頃に竣工予定で進行している。

## 第4号議案 各施設の今後の運営計画についての報告

各施設の今後の運営計画における進捗について、理事長より報告があった。

前年度の学校関係者評価でもご報告したとおり、大阪自動車整備専門学校は令和8年度より新校舎での教育活動がスタートする。現在使用している旧生野南小学校の校舎は、8年度から東朋学園高等学校が移転し、約20年間その場所で教育活動を行う。また、東朋高等専修学校は令和8年度から校舎の拡大と学費および現在設置している2学科を1本化し、新たに『アドバンス学科』を設置する。ご説明したすべての事項について、大阪府私学課への届け出は現在手続き中で、令和7年度中には完了する予定である。

来年度に向けて、各校また岡崎学園自体が大きな変化を迎える。安定した運営を行うため一層の努力と管理体制を強化する。運営にあたり、委員の皆様のさらなるご指導・ご鞭撻をお願いしたい、との説明があった。

閉会に際し、議長は最後に各委員の方にお礼を申し上げ、委員の皆様からのご意見に合ったように、時代のニーズに合った教育を提供することは最も重要であると考えている。多様化が顕著な現社会において、学園の軸となる専門教育・支援教育をさらに進化させるため、教員一人ひとりが専門的な知識や技能の向上に向けて努力し、関係機関とも密な連携を取りながら、充実した教育

を提供できるよう、学園としても取り組んでいく旨を申し伝えた。

また後日ご案内を差し上げる予定であるが、大阪自動車整備専門学校の新校舎においては内覧会を開催する予定である。令和８年度で岡崎学園は創立８０周年を迎える。引き続き、皆様方からの温かいご支援とご協力を賜りますよう、お願いを申し上げ、本委員会会議は午後３時３５分に閉会をした。